

絃友会便り

名渡山兼一と絃友会をご支援くださる皆様へ近況報告、
絃友会便りをお届けします。 2016.10.31 No.118

絃友会事務局・新谷 真由美 <http://www.genyu-kai.com>

秋風がそよぎはじめました・・・



毎年 20 坪ほどの住宅の小さな隙間に、沖縄フタバ種苗ショップさんからゴーヤー・ナーベラーの苗を取り寄せ、育てている新谷宅。



沖縄より気温の高かった川崎の夏。ナーベラーは暑すぎるのは嫌いなようで、冷たい秋雨に濡れながら今日も稔り続けています。ゴーヤーは二つの苗から 116 本収穫。私達母子(真由美・紗織)が毎年夢中になるこの栽培は、師匠の真似事・・・名渡山兼一は、父であり祖父である以上に歌・三絃の師匠、師匠のやっていることは何でも真似てみて近づきたいと思うものです。

去年より今年、少しずつ経験を重ね食べきれないほどの

収穫を喜び、たくさんの方とわかちあい楽しみました。

でも 9 月下旬、心無いゴーヤー泥棒が出現!!!

声をかけてくれたら差し上げましたのに・・・とても悲しい出来事でした。

作物を育てることは人を育てることに似ていることに気づきました。

第 79 回沖縄芸能大会



2016 年 10 月 16 日・川崎市教育文化会館。

恒例の沖縄芸能大会が開催されました。

『川崎沖縄芸能研究会』に所属する私たち名渡山研究所は、幕開け斉唱にはじまり、かじゃでい風節・稲まじん節・祝い節の地謡、器楽合奏、

民謡(恋し沖縄・村遊び)に出演。

『川崎沖縄芸能研究会』は、昭和 20 年代に故郷沖縄の伝統芸能を歌い奏で舞い続けた先達の活動が稔り、川崎市と神奈川県が無形民俗文化財に指定され今日に至っています。

沖縄芸能大会は、その指定や発展を支えた いにしへの川崎市の方々に感謝する日でもあります。



民謡のリハーサル風景

絃友会サンフランシスコ支部長・ウェスリー氏来日!!!

『第6回世界のウチナーンチュ大会』に参加するため来日した上運天 ウェスリー氏。ハワイ生まれの日系三世の彼は、琉球大学・法政大学院などに留学中、ウチナーグチを習いたいと名渡山先生を訪ね絃友会本部で研鑽し、カリフォルニア大学の講師としてアメリカに帰国しました。



過去3回の絃友会サンフランシスコ公演を導いてくれたのはウェスリー氏。

現在はサンフランシスコ州立大学で教鞭をとりながら、絃友会サンフランシスコ支部長として多くの門下生を育てています。

さらに、サンフランシスコ沖縄県

人会長という重職を預かり『第6回世界のウチナーンチュ大会』に200名もの会員を引率し来日・・・沖縄へ直行せず、絃友会の仲間の集まりやすい土曜日に成田経由で稽古場に立ち寄って下さいました。稽古は半分、残りの半分はユンタク・・・事務局はウェスリーの好きそうな料理を作り、名渡山先生はウェスリーの好物「ヒージャー刺身」を沖縄から取り寄せ楽しいひと時を過ごしました。



再会を喜ぶ77歳と55歳、無邪気!

三絃を縁に集った知らない者同士が、名渡山先生を父の様に慕い、兄弟の様に繋がり合う絃友会・・・三絃に感謝、名渡山先生に感謝。

ウェスリーの言葉

サンフランシスコから飛行機に乗り成田から川崎までの長旅、例えて言うならば「思てい通らば千里ん一里 またん戻らば元ぬ千里」というトッバラーマの歌詞の想いです、ほんとうに皆さんにあえてよかったです・・・ウェスリー談。私達もウェスリーに会えて嬉しかったです!!!

組踊特別鑑賞会のお知らせ

一般社団法人伝統組踊保存会・沖縄県教育委員会などの主催により、2017年1月15日(日)サンピアンかわさきに於いて、神奈川県川崎市組踊特別鑑賞会が開催されます。

演目は琉球舞踊、組踊「護佐丸敵討」。各分野の先生方の実演を間近に鑑賞させていただき貴重な公演になると思います。

川崎公演実現にあたり、絃友会では会場確保に微力を尽くさせていただきました縁もあり、多くの皆様のご高覧をいただきたく御案内申し上げます